

# 社会資本総合整備計画

## 遠賀地区都市再生整備計画

平成 29 年 7 月 14 日

福岡県 遠賀町

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成29年7月14日

計画の名称	遠賀地区										重点配分対象の該当																												
計画の期間	平成24年度 ~ 平成29年度					交付対象	福岡県遠賀町																																
計画の目標	安全・安心・環境に配慮した快適生活空間の創出と絆づくりによるコミュニティの活性化																																						
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の防災機能の強化と住環境生活基盤の向上</li> <li>地域コミュニティ活動の活性化</li> </ul>																																						
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H24当初)</th> <th></th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防犯・防災対策に対する住民満足度</td> <td>14.00%</td> <td></td> <td>22.00%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活道路網整備に対する満足度調査</td> <td>31.00%</td> <td></td> <td>37.00%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コミュニティの場の充実に対する満足度</td> <td>14.00%</td> <td></td> <td>19.00%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right; font-size: small;">うち提案事業 667.2百万円</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H24当初)		最終目標値 (H29末)	防犯・防災対策に対する住民満足度	14.00%		22.00%		生活道路網整備に対する満足度調査	31.00%		37.00%		コミュニティの場の充実に対する満足度	14.00%		19.00%		うち提案事業 667.2百万円				
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																			
	当初現況値 (H24当初)		最終目標値 (H29末)																																				
防犯・防災対策に対する住民満足度	14.00%		22.00%																																				
生活道路網整備に対する満足度調査	31.00%		37.00%																																				
コミュニティの場の充実に対する満足度	14.00%		19.00%																																				
うち提案事業 667.2百万円																																							
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,521.6百万円	A	2,521.6百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																											
<b>交付対象事業</b>																																							
<b>A 基幹事業</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																						
									H25	H26	H27	H28	H29																										
A1	都市再生	一般	遠賀町	直接	遠賀町	遠賀地区都市再生整備計画事業	道路、公園、地域生活基盤施設等 1625ha	遠賀町						2,521.6																									
									合計					2,521.6																									
<b>B 関連社会資本整備事業 (該当なし)</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																						
									H25	H26	H27	H28	H29																										
									合計					0																									
<b>C 効果促進事業</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																								
									H25	H26	H27	H28	H29																										
									合計																														
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																											
<b>D 社会資本整備円滑化地籍整備事業</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																								
									H25	H26	H27	H28	H29																										
									合計																														
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																											

交付金の執行状況

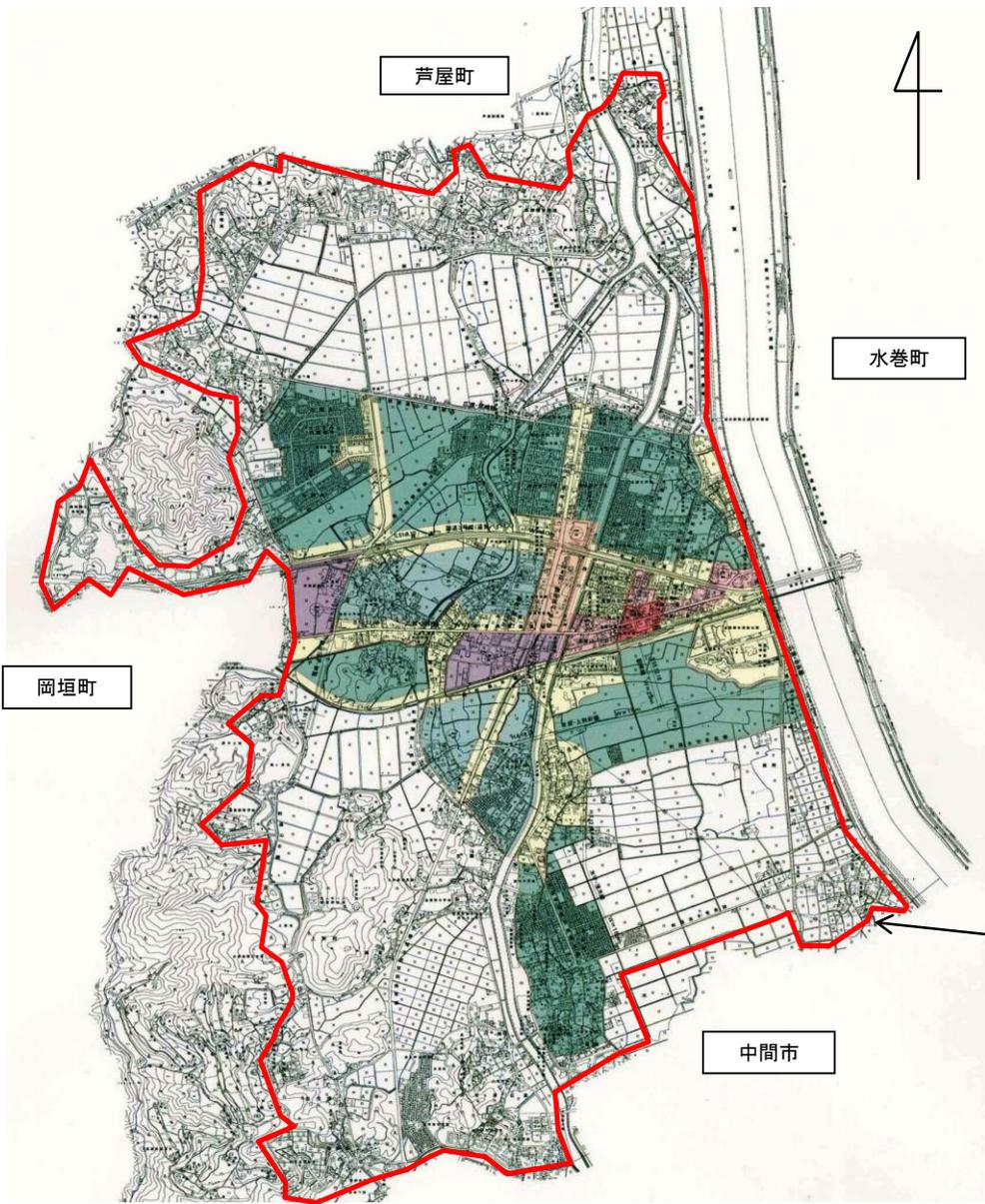
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	10	221	599		
計画別流用 増△減額 (b)			4		
交付額 (c=a+b)	10	221	603		
前年度からの繰越額 (d)	83				
支払済額 (e)	93	221	542		
翌年度繰越額 (f)			61		
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	遠賀地区都市再生整備計画	交付対象	遠賀町
計画の期間	平成25年度～平成29年度 (5年間)		



遠賀地区都市再生整備計画事業

# 社会資本整備総合交付金チェックシート(例)

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 遠賀地区都市再生整備計画

事業主体名: 福岡県遠賀町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○